

令和5年度 児童養護施設に対する寄付貢献活動

令和6年3月7日、東北遊商の社会貢献活動の一環である「児童養護施設に対する寄付」を東北6県全34施設へ行いました。

継続事業として今年で17年目となり、寄付金贈呈式は宮城県と福島県の2県にて実施し、他は、各県代表施設へお送りしました。

【宮城県での贈呈状況】

日 時 令和6年3月7日（木）

場 所 宮城県仙台市「丘の家子どもホーム」13：30～

参加者 東北遊技機商業協同組合 高橋一則理事長

同社会貢献委員会 大久保康二副委員長、佐々木勝也委員

令和6年3月7日に東北遊商の社会貢献活動の一環である宮城県内児童養護施設に対する寄付贈呈式に参加させて頂き、丘の家子どもホーム様他、4施設の代表の方々にお話を伺いました。

贈呈式では、「また、今年も無事に来ることができたことを嬉しく思います」との高橋理事長の挨拶から始まり、「東北遊技機商業協同組合様が東北6県の児童福祉に興味をもって支援してくださっていることを大変感謝しております」との、丘の家子どもホーム鈴木園長から感謝のお言葉を頂きました。

子供の出生率の低迷や施設養育から家庭養育に切り替わっていき、小さい子供は里親との生活となり施設入所者の数も減ってきているそうです。数年後に成長して大きくなると施設に戻ってくる子供達や、18歳で独立をしないといけないのに諸事情で戻ってくる子供たちもいるそうです。虐待で入所してくる子供が半数以上で、今後も児童養護施設の子供たちが安心して成長できるように見守っていく必要があると感じました。（佐々木委員）



贈呈式の様子： 写真中央、「丘の家子どもホーム 園長：鈴木重良様」

写真提供：ほくとう通信（フェイム） 友道様

【福島県での贈呈状況】

日時 令和6年3月7日（木）

場所 福島県福島市「児童養護施設アイリス学園」13：30～

参加者 東北遊技機商業協同組合社会貢献委員会 杉本信夫委員長、宍戸良史委員

当日は、アイリス学園園長 青木美津雄氏と地元の新聞社2社の取材の中、約1時間、現在の状況、問題点などのお話を伺いました。ほとんどの児童が親によるDV被害、ネグレクト(無視・無関心)により、全国の児童養護施設で約3万人の被害児童を受け入れているが、実際の人数は、その何倍にもなるかもしれないとのことです。

精神的なフォローも大切で、地域の人達にも助けられており、また、このような寄付金などが支えであることなどの話がありました。また、青木園長から感謝状を受け取り、社会福祉への貢献継続の必要性を強く感じた日となりました。(宍戸委員)



◆感謝状贈呈の様子：左から「アイリス学園園長 青木美津雄氏」、「杉本委員長」、「宍戸委員」

□福島県を代表する地方紙「福島民報」「福島民友新聞」の新聞2社に記事が掲載されました！

						善意の寄付 ◆東北遊技機商業協同組合(東北遊技) 県社会福祉協議会児童福祉施設部に40万円を寄せた。県内8カ所の児童養護施設で分配する。贈呈式を福島市の児童養護施設アイリス学園で行った。東北遊技機社会貢献委員会の
◆東北遊技機商業協同組合(東北遊技) 県社会福祉協議会児童福祉施設部に40万円を寄せた。県内8カ所の児童養護施設で分配する。贈呈式を福島市の児童養護施設アイリス学園で行った。東北遊技機社会貢献委員会の						
県内のPM2.5予測						
28日	29日	30日	31日	4月1日	2日	
やや多い	少ない	やや多い	少ない	少ない	少ない	
非常に多い…注意喚起レベル 多い…日本の環境基準値程度 やや多い…大気が少しすすむ程度 少ない…清浄						
※SPRINTARS、九州大・竹村俊彦教授提供						
杉本信夫委員長と宍戸良史委員が部会代表の青木美津雄アイリス学園長に寄付金を手渡した。写真。杉本委員長は「スポーツ大会の開催費用や卒園後の支援など、自由に使ってほしい」と話した。						

◆「福島民報」2024.3.28 掲載

□ほくとう通信「フェイム」に掲載されました。



東北6県全34児童養護施設へ総額170万円寄贈 17年間継続した支援活動



東北遊技機商業協同組合(高橋一則理事長)が継続支援事業として実施している東北6県全34児童養護施設への支援活動は、社会貢献活動の中でも、今年で17年目を迎え、長期にわたる地道な活動となっています。今年度は、3月7日に1施設5万円、総額170万円の寄付金を訪問及び送金の形で贈呈しました。

3月7日、高橋一則理事長、大久保康二社会貢献副委員長、佐々木勝也同・委員の3名は仙台市青葉区小松島の「丘の家子どもホーム」(鈴木重良園長)を訪問。宮城県内全5施設分の寄付金25万円を贈呈しました。

当日は、県内4施設から各施設長が

録を贈呈しました。

受贈者を代表して鈴木園長は、「震災前から長きにわたってご支援を賜っていることに対し、厚く御礼申し上げます。こうした浄財は有効に子どもたちのために使わせていただきます」と謝意を述べました。一方、高橋理事長は、「遊技業界の現状は非常に厳しい環境

下にあり、組合活動も縮小傾向にある中、子どもたちの育成に係わる分野への支援協力は、精一杯させていただいています。今年も継続できましたことを先ずもって安堵しています」と実情を報告するとともに、「今後も組合員の理解の下、継続できることを願っています」と述べました。

また、懇談の席で鈴木園長から、事前に準備した県内の児童養護施設入所者数と入所理由の資料を基にした

施設の実情と、里親制度や、親による虐待の増加など、社会環境の変化について話がありました。

この他、同日、杉本信夫社会貢献委員長と穴戸良史同・委員の2名が福島県福島市の『アイリス学園』(青木美津雄園長)を訪問。福島県社会福祉協議会・児童福祉施設部代表の青木園長に福島県内8施設分の寄付金総額40万円を手渡しました。

■寄付金贈呈先施設

〈青森県〉「藤聖母園」(青森市)、「美光園」(七戸町)、「幸樹園」(鶴田町)、「あけぼの学園」(十和田市)、「浩々学園」(八戸市)、「弘前愛成園」(弘前市)
〈岩手県〉「みちのくみどり学園」(盛岡市)、「大洋学園」(大船渡市)、「青雲荘」(盛岡市)、「和光学園」(盛岡市)、「一閑藤の園」(一関市)、「清光学園」(花巻市)
〈秋田県〉「県南愛児園ドリームハウス」(横手市)、「感恩職児童保育院」(秋田市)、「聖園天使園」(秋田市)、「陽清学園」(北秋田市)
〈宮城県〉「仙台天使園」(仙台市)、「小百合園」(仙台市)、「ラ・サール・ホーム」(仙台市)、「丘の家子どもホーム」(仙台市)、「旭が丘学園」(気仙沼市)
〈山形県〉「寒河江学園」(寒河江市)、「山形学園」(山形市)、「双葉荘」(新庄市)、「興望館」(米沢市)、「七窪恩恩園」(鶴岡市)
〈福島県〉「堀川愛生園」(棚倉町)、「白河学園」(白河市)、「青葉学園」(福島市)、「会津児童園」(会津若松市)、「アイリス学園」(福島市)、「福島愛育園」(福島市)、「いわき育英舎」(いわき市)、「森の風学園」(玉川村)
以上、34施設

提供：ほくとう通信(フェイム) 友道様

当組合は今年も東北6県の児童養護施設に対する寄付金をお届けすることができました。

これもひとえに、当組合員のご理解、ご協力あってのことと思います。

この活動は上記新聞記事に掲載されているとおり、平成20年から今年で17年目にあたり、社会貢献委員会、唯一の東北6県全域に対する活動となっております。

社会貢献委員会はこの活動を今後も続けていければと思っておりますので、これからもご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。(杉本委員長)

(参考：東北遊商 寄付金額 東北6県 計34施設 各5万円 計170万円)